

主 な 取 組	学習情報の提供						担当課	自己評価
							社会教育課	B
目 標	市民の学習と活動を支援する情報の収集・提供を進め、ICT機器を活用した情報発信の充実を図る。							
取 組 状 況 及 び 成 果	市民の学習と活動を支援する情報の収集・提供を進め、ICT機器を活用した情報発信の充実を図った。 インターネット等を活用した学習情報の提供 「いるま生涯学習出前講座」46件 「生涯学習ガイドブック」年2回、「いるま学びの場」年1回の発行							
指標及び説明	【指標】 学びの場ホームページへのアクセス数				【説明】 ホームページへのアクセス件数により、学習環境の充実度を判断する。			
指標の推移	単位	現状値	実績値				目標値	
	件	R1 平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8 平時
		8,834	平時	平時	平時			10,500
		R2 有事	7,336	7,016	7,678			R8 有事
4,236							5,100	
分 析	インターネットを活用した学習情報の提供や、「いるま学びの場」の発行など、当初の計画通りに進めることができた。							
課 題 及 び 改 善 点	情報機器を使用しない方への紙媒体での情報発信を維持しつつ、多様な市民のニーズに応えられるよう、様々な媒体を通しての情報発信を行っていく。							

【施策の体系】 2 生涯学習

【政策】 第1項 生涯学習の推進

【施策】 (1) 学習環境の整備

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 1 2

主 な 取 組	学習機会の充実					担当課	自己評価
						社会教育課	B
目 標	市民活動団体や大学・企業等との連携・協働を図り、市民が学んだことをまちづくりに生かせる学習機会を提供する。また、障害者が地域の一員として豊かな人生を送ることができるよう、生涯を通じた学習機会を提供する。						
取 組 状 況 及 び 成 果	市民活動団体や大学・企業等との連携・協働を図り、市民が学んだことをまちづくりにいかせる学習機会を提供した。 まちの先生講座受講者 延べ584人 生涯学習フェスティバル会場参加者 延べ1,960人、オンライン視聴者 延べ445人 文芸入間投稿者 延べ120人 いるま生涯学習出前講座受講者 925人 子ども大学さやま・いるま修了生 29人 子ども音楽大学いるま修了生 15人						
指 標 及 び 説 明	【指標】 生涯学習事業への参加者数			【説明】 事業への参加者数により、学習環境の充実度を判断する。			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
		6,308	平時	平時	平時		
		R 2 有事	3,044	3,690	4,078		
864							
						R 8 平時	
						7,000	
						R 8 有事	
						1,000	
分 析	令和5年度と比較して、生涯学習事業の参加者数は増加しており、特に、生涯学習フェスティバルは、多くの来場者で賑わった。						
課 題 及 び 改 善 点	まちづくりに参加する市民の高齢化が進み、引き継いでいく後継者の育成が課題である。						

【施策の体系】 2 生涯学習

【政策】 第1項 生涯学習の推進

施 策	(1) 学習環境の整備			
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	学習情報の提供	社会教育課	B	B
	学習機会の充実	社会教育課	B	
学 識 経 験 者 意 見 等	<p>「学習情報の提供」に関しては、ホームページへのアクセス数が過去2年間と比較して上昇傾向にあり、着実にICT機器（インターネット）による効果的な情報発信がなされているものと考えます。また、継続して紙媒体での情報発信も維持しながら情報弱者となりうる層の高齢者などへの配慮もされています。「いるまなびと」を拝見いたしました。探したい情報にアクセスできるように工夫がされていました。</p> <p>「学習機会の充実」に関しても着実に参加者数が増加傾向にあり評価されます。「いるまなびと」で生涯学習フェスティバルの参加団体一覧や記録映像を拝見しましたが、子どもから高齢者まで異世代の市民が参加している様子がうかがわれ、生涯学習の取り組みとして充実していると評価いたします。後継者育成の課題に関しては改善できるよう努力していただきたいと思えます。ひとつ気になりました点が、目標にある「障害者が地域の一員として豊かな人生を送ることができるよう、生涯を通じた学習機会を提供する」について、その取組や成果については確認ができませんでした。次年度はこの目標の到達度がわかるよう工夫していただくことを希望します。</p>			

主 な 取 組	学習成果活用の奨励						担当課	自己評価
							社会教育課	B
目 標	市民が学習した成果を発表する事業の充実を図り、市民の学習活動を奨励する。市民が習得した知識、経験、技術等を地域へ生かす市民講師登録制度の充実を図る。また、登録した市民講師が実施する講座の充実を図る。							
取 組 状 況 及 び 成 果	市民が学習した成果を発表する事業の充実を図り、市民の学習活動を奨励した。また、市民が習得した知識、経験、技術等を地域へ生かす市民講師登録制度の実施及び登録した市民講師の充実を図った。 まちの先生（市民講師） 49人 まちの先生講座 26講座（受講者数延べ584人）							
指標及び説明	【指標】 市民講師数、事業の実施数			【説明】 生涯学習に関する市民講師の人数及び市民講師が実施する講座の数により、市民の学習成果活用の推進度を判断する。				
指標の推移	単位	現状値	実績値				目標値	
	人 講座	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		61	平時	平時	平時			65
		31						35
R 2 有事		55	47	49			R 8 有事	
61	9	27	26			—		
22						25		
分 析	「まちの先生」登録は年間を通して一定の新規申し込みがあり、公民館や学校などからの要請による登録者の活躍の場も増得ている。また、「まちの先生」を活用した市民講座である「まちの先生講座」については、講座数は微減したものの延べ受講者数は年々増加している。							
課 題 及 び 改 善 点	市民講師が高齢化により減少している。「まちの先生講座」の受講生などから市民講師を発掘していくことが課題である。							

【施策の体系】 2 生涯学習

【政策】 第1項 生涯学習の推進

【施策】 (2) 学習成果の活用

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 1 3

主 な 取 組	市民との協働						担当課	自己評価
							社会教育課	A
目 標	地域で仲間と学ぶ市民を「いるまなびと」として位置づけ、「いるまなびと」が市民に定着し、より多くの市民が「いるまなびと」として学びを推進し、学んだことを暮らしや地域に生かし、市民との協働で各種事業の計画・立案・運営を進める。							
取 組 状 況 及 び 成 果	地域で仲間と学ぶ市民を「いるまなびと」として位置づけ、「いるまなびと」が市民に定着し、より多くの市民が「いるまなびと」として学びを推進し、学んだことを暮らしや地域に生かし、市民との協働で各種事業の計画・立案・運営を進めた。 文芸入間第47号の発刊 第29回いるま生涯学習フェスティバルの開催							
指 標 及 び 説 明	【指標】 市民活動団体等の協働による事業数				【説明】 連携協力による事業数により、市民との協働の推進度を判断します。			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	事業	R 1 平時	R 4 平時	R 5 平時	R 6 平時	R 7	R 8	R 8 平時
		2						2
		R 2 有事	2	2	2			R 8 有事
2							—	
分 析	生涯学習フェスティバルでは、通常及びオンライン開催を実施し多くの来場者で賑わった。文芸入間は、編集委員5人と少数ながら、紙面構成を見直し効率化を図り第47号を発刊した。							
課 題 及 び 改 善 点	生涯学習をすすめる市民の会委員、文芸入間編集委員については、ともに幅広い年齢層の会員拡充など、会員数の維持確保が課題である。市民の会委員については、まちの先生やまちの先生講座受講生からの人材獲得を進めている。							

【施策の体系】 2 生涯学習

【政策】 第1項 生涯学習の推進

施 策	(2) 学習成果の活用				
施 策 評 価	主な取組		担当課	自己評価	総合評価
	学習成果活用の奨励		社会教育課	B	
	市民との協働		社会教育課	A	
学 識 経 験 者 意 見 等	<p>「学習成果の活用の奨励」に関しては、「まちの先生」登録状況も微増して、市民の主体性を励ますよう支援してきた担当課の取組の成果として評価いたします。今後も登録された市民講師が活躍できる場の確保も含めて市民による市民のための学びあいが活性化していくよう人材の発掘や維持を期待します。「市民との協働」に関しても、「いるまなびと」の定着・発展を図るために、今後とも生涯学習をすすめる市民の会ならびに文芸入間編集委員などの人材確保の課題に取り組みながら、充実した協働ができることを期待します。</p>				